

発行日：平成30年01月04日

**あけましておめでとうございます**

冷え込みが厳しくなりましたね。寒くなると、暖房器具などによるやけどが心配です。

**【やけどの応急手当について】**

- ① 流水で流す
- ② 衣服を脱がせる  
ある程度、冷えたら患部を覆っている衣服、靴下などを脱がせましょう。生地が張り付いている時は、その部分を残して切り取りましょう。
- ③ 患部を保護する  
患部を清潔なガーゼで覆い、包帯をゆるめに巻きます。水ぶくれや、ただれ、激痛などがある時は、早めに受診しましょう。  
⇒こんな時は救急車を！・・・皮膚が青白くなって痛みを感じない。

**たばこについて**

たばこは、健康によくないといわれています。では、大人が扱ったたばこの煙は、そばにいる子どもや家族にどんな影響があるのでしょうか。

- ・子どもへの影響  
たばこを吸う家庭では、子どもが病気になりやすく病気が長引いたり重くなる事があるとされています。  
・咳が長引いてなかなか治らない、喘息発作をおこす  
・肺炎・気管支炎・肺がんになる危険度が増すとも言われています。
- ・胎児への影響  
お母さんが妊婦中、たばこを吸ったり家族の中でたばこを吸う人がいると、流産や早産を起こし易く未熟児が生まれる確率が高いと言われています。生まれた赤ちゃんを出産する為には、妊婦をたばこの害から守る事が大切です。

**風邪や胃腸炎が心配される時期です**

こんな時は、ご家族で様子を見ましょう。

- ・24時間以内に、38℃以上の熱が出ていた時
- ・24時間以内に、下痢剤やけいれん止めを使用した時
- ・夜、目覚める時の咳が出る時
- ・ゼーゼーして息苦しい時
- ・下痢、嘔吐がある時
- ・朝、熱が37.5℃以上ある時

**抗菌剤(抗生物質・抗生剤について)**

抗菌剤は細菌などによる病気を早く治したり、時には重病な病気から命を救ってくれる薬です。お子さんの中耳炎やとびひなどで処方された事のある方も多いと思います

- ・抗菌薬をもらったら最後まで、きちんと飲みましょう。症状がよくなったからといって途中でやめる事のないようにしましょう。
- ・抗菌薬をとっておく？  
抗菌薬をとっておいて、次の病気の時に取り合えず飲ませるといふ事のないようにしましょう。  
これは、病気のサインを中途半端に消してしまうので、正しい診断が出来ず病気をこじらせてしまう事があるからです。

**1月の保健予定**

10日(水) 乳児検診  
11日(木) 身体測定

